

別記第2号様式（結果の公表）

『鴨川市地域公共交通計画（案）』に対する意見募集結果をお知らせします。

鴨川市地域公共交通計画（案）について、みなさまからご意見を募集しました結果は以下のとおりでした。これらの意見を参考とさせていただき、鴨川市地域公共交通計画を策定いたしました。貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

【策定した政策の名称】

鴨川市地域公共交通計画

【政策等の案を公表した日】

令和4年2月9日

【意見募集期間】

令和4年2月9日（水）から令和4年3月10日（木）まで

【意見の提出状況】

1 意見提出者 4人

2 延べ意見数 9件

3 意見提出方法

窓口への提出1件、郵便2件、ファクシミリ0件、電子メール1件

【提出された意見と市の考え方】

別紙のとおり。

なお、ご意見は趣旨を損なわない範囲で要約、集約をさせていただきました。

【実施担当課／問い合わせ先】

鴨川市役所 企画総務部企画政策課住み続けたいまちづくり係 電話番号 04-7093-7828

【お知らせ】

このたび策定した「鴨川市地域公共交通計画」については、市ホームページのほか、次の場所で閲覧することができます。

鴨川市役所3階 企画総務部企画政策課

鴨川市役所1階 市政情報コーナー

鴨川市地域公共交通計画（案）に係るパブリックコメント実施結果

鴨川市地域公共交通計画（案）を公表し、それに対する市民の皆様からのご意見を募集するパブリックコメントを実施したところ、以下のとおり貴重なご意見を頂きました。

寄せられたご意見の内容と、それに対する市の考え方等をお示しします。

【パブリックコメント手続実施結果】

1 案件名

鴨川市地域公共交通計画（案）

2 募集期間

令和4年2月9日（水）～令和4年3月10日（木）

3 募集方法

市ホームページ、まちづくり推進課、市政情報コーナーにおいて「鴨川市地域公共交通計画（案）」を公表し、意見を募集しました。

4 意見の提出件数

9件（意見提出者4人）

5 意見の概要と市の考え方

（1）第2章 公共交通を取り巻く現状と課題 2件（1人）

意見の概要	市の考え方
2.1.2 人の動き ○通学目的の人の動きについて、木更津総合高校や志學館、拓大紅陵の人員移動が抜け落ちている。データの信憑性は担保されているのか疑問を感じる。	パーソントリップ調査は、サンプル調査により得られた結果から拡大推計を行うものであり、全ての人を対象とした調査ではありません。また、回答者の特定防止のため、ごく少数の回答についてはデータ反映されておりません。
2.2.2 地域公共交通の状況 ○乗合タクシー「チョイソコかもがわ」の実証実験について、中間報告、考察・検証等は記載しないのか？	令和3年11月までの利用状況は記載しております。タイトルのとおり、ここでは地域公共交通の状況を記載する頁となっております なお、事業主体である千葉トヨタ自動車株式会社による実証事業の効果検証等については、未だ行われておりません。

(2) 第4章 目標達成に向けた施策 4件(2人)

意見の概要	市の考え方
<p>4.2 施策・事業の実施内容</p> <p>事業①-2 新たな公共交通システムの導入検討</p> <p>○MaaSで運用する福祉ムーバーが、鴨川の交通移動問題を解決する唯一の方法。福祉施設に限定したサービスでなく、様々な業者が参画して鴨川版福祉ムーバーを作ればいい。</p>	<p>福祉ムーバーにつきましては、サービスを無償で提供してくれる事業者、利用者の需要を満たすための多数の送迎車両及び送迎時間帯を限定しないフリータイム送迎サービスが必要であり、また、人口密度が高く送迎範囲が密集した地域が適しているものと考えます。</p> <p>以上のことから、現段階では福祉ムーバーの導入は難しいものと考えておりますが、今後も引き続き情報収集を行い、福祉ムーバーに限らず、本市にとって持続可能かつ有効な公共交通システムの導入を検討していきます。</p>
<p>事業①-3 広域移動手段の維持確保・充実について</p> <p>○鉄道事業者へ、以下の点を要望して欲しい。また、千葉県複線化期成同盟を通じての要望だけではなく、安房3市1町との連携も具体化していただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通勤時間帯のワンマン車両の混雑改善 ・これ以上電車の本数を減便しないこと ・電車とホームの段差について、国土交通省の基準値(段差5cm)に適合しない駅についての調査及び改善 	<p>ご意見については、サービス改善に係る要望活動実施の際の参考とさせていただきます。</p>
<p>事業③-4 運転免許証の自主返納の促進に向けた検討</p> <p>○公共交通が充実していない現状では、高齢者の運転免許証の自主返納の促進は困難。免許を返納しても不自由がないよう、公共交通サービスを充実させる必要がある、そのためにも福祉ムーバーを導入すべきである。</p>	<p>福祉ムーバーにつきましては、サービスを無償で提供してくれる事業者、利用者の需要を満たすための多数の送迎車両及び送迎時間帯を限定しないフリータイム送迎サービスが必要であり、また、人口密度が高く送迎範囲が密集した地域が適しているものと考えます。</p> <p>以上のことから、現段階では福祉ムーバーの導入は難しいものと考えておりますが、今後も引き続き情報収集を行い、福祉ムーバーに限らず、本市にとって持続可能かつ有効な公共交通システム</p>

	ムの導入や高齢者等の運転免許証自主返納を促す特典等の支援制度について検討していきます。
事業④-1 モビリティ・マネジメントの実施 ○モビリティ・マネジメントキットの説明がない。	ご意見を踏まえ、用語解説に「モビリティ・マネジメントキット」の記載を追加いたします。

(3) 第5章 目標の評価指標と計画の進行管理 1件(1人)

意見の概要	市の考え方
<p>5.1 目標の評価指標</p> <p>指標⑤ 公共交通に対する満足度</p> <p>○目標設定が低すぎる。市の事業として、目指す満足度がこの程度でいいのか。</p>	<p>現在、本市の公共交通は、その維持が非常に困難な状況となっており、持続可能かつ有効な公共交通網を形成し、公共交通の維持確保・充実を図ることが急務となっております。</p> <p>このような中で、公共交通に対する満足度を現状から大幅に向上させる目標設定は、現実的でない判断し、達成が可能な範囲で目標値を設定いたしました。</p>

(4) その他 2件(2人)

意見の概要	市の考え方
○運転免許証の自主返納を考えると、もう少し公共交通が充実していればと思う。	交通事業者等との協働により、持続可能かつ有効な公共交通網を形成し、利用環境の整備や公共交通に関する周知・啓発等の取組を行い、誰もが気軽に安心して利用できる、わかりやすく、便利で利用しやすい公共交通サービスの提供を目指します。
○市役所、ふれあいセンター、陸上競技場など、公共施設へアクセスする路線バス等の本数が少なく不便である。	地域特性に対応した持続可能かつ有効な地域公共交通網の再編を施策の一つに位置付けております。いただいたご意見は、再編検討の際の参考とさせていただきます。